

# The Tokyo Tanuki Times

東京タヌキタイムズ

2010年3月号 通巻15号 毎月1日発行 購読無料

©MIYAMOTO Takumi,2010

責任編集：宮本拓海 発行：東京タヌキ探検隊！tokyotanuki.jp

## 東京タヌキカレンダー

### タヌキ観察のお供にどうぞ

|    | 5月         | 6月          | 7月                  | 8月                       | 9月                    | 10月 | 11月 | 12月         |
|----|------------|-------------|---------------------|--------------------------|-----------------------|-----|-----|-------------|
| 幼獣 | 上旬ごろ<br>出産 | 巣から<br>出てくる | 行動範囲<br>広がる         | 成獣並みの<br>大きさに            | 徐々に毛が<br>長くなる         | 親離れ |     | 冬毛          |
| 成獣 | 夏毛へ換毛開始    |             | ぼさぼさ<br>した感じ<br>になる | 換毛完了=夏毛<br>幼獣との<br>区別難しい | 徐々に毛が長くなる<br>→冬毛へ換毛開始 |     |     | 換毛完了<br>=冬毛 |

このカレンダーは東京都23区についてのもので、他の地域では出産時期などが異なります。

タヌキを観察するならば、季節ごとの行動や外見の変化を知っておく必要があります。いつごろ出産するのか、幼獣の成長のスピードはどのくらいなのか、などなど。こういうことがわかっていれば、観察の方針もたてやすくなります。そこで、今回は東京タヌキカレンダーを上に掲載しました。

#### ここがポイント！

カレンダーを見る時のポイントその1は、子どもの成長は速い、ということです。5月に誕生して、わずか3ヶ月ほどで親とほぼ同じ体格になり、見分けができなくなります。もし冬に体格の違うタヌキ2頭が現れたとしても、それは親子と断定することはできません。単に個体差と考えた方がいいでしょう。

ポイントその2は、夏毛と冬毛の切り替わりにはかなり時間がかかることです。毛の伸びる速度はゆっくりしたものですので、ある日から突然、夏毛・冬毛に切り替わるのではありません。春から夏にかけては成

獣の長い冬毛が少しずつ抜けていきます。7月ごろはかなりぼさぼさした外見になります。幼獣の方は短かった毛が徐々に伸びていくので、まるで短毛のイヌのように見えます。ですのでこの時期は成獣と幼獣の区別は毛並みだけでもわかります。秋から冬に向けては短かった毛が徐々に長くなっていきます。ずっと続けて観察していると、「あれ？ちょっとロン毛になってきたかな？」と気付くかもしれません。

夏毛、冬毛、およびこれらの中段階でタヌキの外見の印象は違ってきます。タヌキの正しいイメージが定着しないのはこの辺に理由があるのかもしれません。また、冬毛の期間が意外と長いことにも注意してください。4月というと季節は春ですが、この頃でもタヌキはまだ冬毛で、もこもこした姿です。

なお、上のカレンダーでは特にイベントの無い1月～4月を省略していますが、だいたい3月ごろに妊娠期間に入ります。出産時期は1ヶ月ほどの幅があるかもしれません。早ければ

4月下旬ごろから出産が始まると思われま

#### タヌキは冬眠しません

「タヌキは冬眠するのですか？」と時々たずねられることがあります。その答えは「冬眠も冬ごもりもしません」です。積雪量の多い寒冷地では冬ごもりをするそうですが、東京の暖かさならその必要はまったくありません。タヌキの冬毛なら多少の寒さでも十分耐えられるでしょう。ただ、東京都23区でも冬のタヌキの目撃情報数は少なくなります。冬ごもりまではいかなくても、活動が不活発になっているのかもしれない

#### スポンサー枠

スポンサー募集中です！

東京都および周辺地域のタヌキ情報を集めています。

<http://tokyotanuki.jp>